

新成人が生まれた1988年といえば…

11月8日に前ブッシュ大統領のお父さんジョージ・ハーバート・ウォーカー・ブッシュが当選。ジョージは、米国では多い名前ですが、ジョージ・ワシントン以来初めて「ジョージ」さんが大統領となりました。芸能界では、9月21日に、B'zがデビュー。ベストセラー小説は、村上春樹『ダンス・ダンス・ダンス』、吉本ばなな『キッチン』など。映画「となりのトトロ」の公開もこの年ですが、ビデオで親しんだ新成人も多いはず。ファッション界では、ワンレン・ボディコンの流行が始まりました。有名人では10月6日女優の堀北真希、11月1日、卓球選手の福原愛選手が生まれています。先に紹介したとおり、南島原市では、阪神タイガース「野原将志選手」が誕生した年でもありました。翌年の1989年、平成の世が明けました。



布津町



深江町

各町の成人者数(昨年比)	
加津佐町 94人(-17)	西有家町 128人(+10)
口之津町 69人(-2)	有家町 143人(-2)
南有馬町 85人(+14)	布津町 54人(-33)
北有馬町 57人(-1)	深江町 125人(+21)
南島原市合計 755人(-10)	



上田／小学校の卒業記念に、線路のすぐそばにタイムカプセルを埋めました。その時は、JRになって線路が拡幅されて、勝手に掘られたらどうしよう。と心配したのですが、まさかの廃線！せめて、何かよい利用方法を考えてほしいですね。

門畑／せっかく「道」の体裁があるのですから、サイクリングロードや高規格道路のように長さを生かした使い方がよいと思います。

市長／私も同じ思いです。一方で、当時の鉄道の乗車率はものすごく低いことが赤字の主な原因でした。存続すれば、毎年1億円以上の負担を皆さんにお願いすることになります。4人家族で換算すると毎年、全世帯が8,000円以上を負担しなければなりません。

現実的に無理だと判断しました。個人的にはものすごくさみしいのですが。



すてきな環境を
未来に残したい

上田／環境に関心がすごくあるのですが、市はどんな取り組みをしていますか？

市長／いろいろやっているんですが、今回食用廃油の回収を始めました。家庭でこれまで捨てていた油を回収するもので、使用済みのペットボトルに各家庭で出た廃油をためて貰って、それを支所で回収するというシンプルなシステムです。回収した廃油は最終的にごみ収集車の燃料になるので、環境面、二次活用両面から有効です。愛実さんは個人的に何か取り組んでいることはありませんか？

二人とも最初は「なんで自分が？」という気持ちだったそうです。実際に対談してみても二人は「参加してよかった。日ごろ思っていることを直接市長さんにお話できてよかった」と素直に喜んでいました。

市長も「最近の若い人たちはしっかりしているね。こういう人たちが地元に残ってくれて頼もしいよ」と嬉しそうでした。

上田／ごみが本当に燃料になるんですね。すごいと思います。私は買物袋を受け取らない、とか食べ物を残さないように努力しています。食いしんぼうなのかしら。

門畑／海浜をきれいにするのめいいかもしれませんか。観光客も来るし。

市長／私は森を作りたい。どんぐりの木をいっぱい。広葉樹の森は、地下のダムとしても有効なんです。職員からお金がない、とやんわり断られているんだけど。

上田／どちらにしても今のままじゃ駄目だな、つてことはわかります。未来の子どもたちには、もっと違う未来を残したい。

門畑／何か動かないと駄目、なんでしょうね。

対談を終えて



有家町